



## 高野町立高野山小学校『英語教育研究発表会』の開催について

《シンセティック・フォニックスを用いた音韻認識授業は県内自治体では初めて》

高野町では重点施策として「英語教育の推進」を掲げ、世界を見つめ行動し、自立した子どもたちを育てるため令和3年度から教員研修や授業改善を進めています。

これまで、児童生徒の英語能力や教職員の英語授業の現状を把握・分析を行い、シンセティック・フォニックス(統合型)を導入し、月に1度の実地研修のほかトレーナーから授業のフィードバックを受け教職員の英語力及び授業力のスキルアップを図っています。また、研修を重ね授業実践を行った結果、児童たちは「単語を聞けば文字を書き、単語を見ると英語の音で発音ができる」よう成長してきました。

事業開始から2年が経過、初めての研究発表会ですが児童と教員の成長をご覧いただければ幸いです。

### 《 発表会の内容 》

2年生 音韻認識の学習では日本語と英語の音の違いや英語の音をゲーム等を通じて学びます。

4年生 フォニックスを用いて「qu」を学習します。また、多感覚「5感」を使うことですべての児童に定着を図り、また高野山で働く人とその場所をペアで紹介し合います。

5年生 高野町内の道案内(高野町紹介VTRのリハーサルを兼ねる)

### 《重点施策目標として》

- ・ 小学校から中学校までの9年間の町独自のカリキュラムの作成(進行中)
- ・ 教員の授業力の向上
- ・ 9年間の学習成果として「外国からの訪問者と即興でやり取りを続けることができる」
- ・ 英語検定試験としてケンブリッジ英検の導入(英語の知識を使いこなせるか)

### 記

- 1 日 時 令和5年11月8日(水) 13:30~14:15  
2 場 所 高野町立 高野山小学校 (別紙ご案内のとおり)

## 【これまでの取組について】

令和3年9月から高野町では小規模自治体の強みを活かした、「英語教育推進事業」を始めました。また令和6年9月からは高野山小学校と高野山中学校が1つの校舎で学習を開始することから、小学校から中学校まで連続したプログラムを作成し、所期の目標に進みます。

当町では小学校教員の中からプロジェクトリーダー（PL）を任命しブリティッシュ・カウンシルとの研修を重ね、授業スキルを向上させるとともにPLが学級担任をサポートし全ての学級担任が主授業者となるよう両者が毎月研修を重ねております。

例月の研修概要等は以下のとおりです。

- ① 協働事業者であるブリティッシュ・カウンシル(英国公的法人)のマネージャーとトレーナーが毎月来町し、授業参観後教員とミーティングを行い、後日フィードバックを受け、授業に取り入れる。取り入れた授業のVTRをトレーナーに送付し定着度等の確認をする。この循環を随時行う。
- ② 特に初期段階では非英語圏である日本の学習者に多い「ローマ字読み」「カタカナ発音」、単語の丸暗記や英語嫌いになる要因である「英語をスムーズに読んだり書いたりできない」などの課題解消にシンセティック・フォニックス導入し、効果的な読み書き指導を教員が行えるよう指導スキルの向上を図っている。

## 【これまでの研修・授業風景】

・シンセティック・フォニックスの授業



・外国人講師との言葉のやり取り



・英語の絵本の読み聞かせ研修



・シンセティック・フォニックス授業



## [ 参考 ]

### ○ ブリティッシュ・カウンシルについて

- ・ 1953年から日本で活動する英国の公的（王立憲章（Royal Charter）による法人組織化公益団体）な国際交流機関です。

### ○ シンセティック・フォニックスについて

- ・ 英語の「文字（綴り）と音の関係」やその教授法・学習法のことを「フォニックス」といいます。フォニックスは、自分の力で読み書きができるための必要な技能で、発音にもよい影響を与えます。
- ・ フォニックスにはいくつか種類があります。1つは「アナリティック・フォニックス」（分析型）で、これはアメリカでよく使用されています。2つ目は、「シンセティック・フォニックス」（統合型）で、非英語圏に住む非英語話者にとっても学習しやすいため、採用する国が増えています。
- ・ **本事業では、【シンセティック・フォニックス】を導入しています。**このアプローチは、誰でもすぐに学び始め、楽しく確実に力をつけることができ、非英語圏にいる日本の子どもたちの実情を踏まえたものです。小学校1年生から段階的に、そして系統立てて取り入れています。
- ・ 日本の学習者に多い「ローマ字読み」「カタカナ発音」、単語の丸暗記などの解決にも役立ちます。英語が嫌いになる理由のひとつに、「英語をスムーズに読んだり書いたりできないこと」があり、これは効果的な読み書き指導が導入されていないことに一因があります。

### お問い合わせ先

高野町教育委員会

担当者 指導主事 林 克美

電話 No 0736-56-3050

Mail [k-hayashi@town.koya.wakayama.jp](mailto:k-hayashi@town.koya.wakayama.jp)

提供写真をデータで配布希望される報道機関の方は上記メールアドレスまでご連絡ください。

報道機関各位

高野町教育委員会 教育長 西岡 敬

高野町立高野山小学校 校長 岡本 浩二

## 令和5年度 高野町英語教育研究発表会のご案内（二次案内）

秋晴の候、皆様方におかれましては、益々ご健勝のこととお慶び申し上げます。

さて、令和5年度の高野町英語教育研究発表会を下記のとおり高野山小学校で開催いたします。

高野町では、義務教育9年間を通したバランスの取れたカリキュラムの作成、また、効果的な指導法を用いて自律的に授業改善を行う教員集団作りを念頭に、令和3年度からブリティッシュ・カウンシルと協働で取組を始めました。現在は、子ども達が生まれ育った高野山について、英語を使い基本的なやり取りが出来ることを目標に、全学年での取組を進めています。また、「困り感」のある子ども達も一緒にシンセティック・フォニックスに基づく読み書き指導も行っています。

つきましては、公務ご多忙のこととは存じますが、是非2年間の取組の成果をご覧いただきますようご案内申し上げます。

テーマ 英語で伝え合おう! 私のこと、ふるさとのこと

1 日時 令和5年11月8日（水） 13:30～16:00

2 会場 和歌山県高野町立高野山小学校

〒648-0211 和歌山県伊都郡高野町高野山 376

TEL 0736-56-2140 FAX 0736-56-5557

3 日程

13:15 13:30 14:15 14:30 16:00

受付	公開授業 (各教室)	休憩 移動	研究協議及び指導助言 (体育館)
----	---------------	----------	---------------------

4 公開授業 13:30～14:15 【各教室】

学年	内容	授業者
2年	フォニックス音韻認識（15分）※15分間の授業です。	中部 朱瞭 カミエ・ベリッシュ・テイニス
4年	フォニックス 基本の42音 高野町プロジェクト「高野山で働く人々を紹介しよう！」	藪本 圭司 足立 典子
5年	フォニックス 高野町プロジェクト「高野山の道案内をしよう！」	三龍 直人 小川 希望

5 全体会 14:30～16:00 【体育館】

開会あいさつ 高野山小学校 校長 岡本 浩二

研究協議

研究について（研究主任）

授業について（授業者）

グループ協議

指導助言 ブリティッシュ・カウンシル

シニアマネージャー 河合千尋 先生

閉会あいさつ

高野山教育委員会 指導主事 林 克美

6 参加申込

・URL または QR コードからお申し込みください。

・申込期間 令和5年9月19日（火）～10月21日（土）まで

<https://forms.gle/rot2qnmBCBjDgJ8F7>



問い合わせ先

〒648-0211 和歌山県伊都郡高野町高野山 376

高野山小学校 教頭 大谷 智士

TEL：0736-56-2140 FAX：0736-56-5557 メール：pt-k01@koya.ed.jp

7 その他

・上靴・下足袋をご持参ください。

8 会場案内

・車でお越しの方は運動場に駐車してください。

・公共交通機関でお越しの方は、南海りんかんバス「千手院橋」または「金剛峯寺前」で下車してください。

